

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 26

事業名	さわやかちば県民プラザ「交流事業」「学習・研修事業」		
担当課・室・班名	生涯学習課 社会教育振興室	問合せ先(電話番号)	4168

1 事業の概要

柱	1 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援 職業的自立・就労支援					
基本方策	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県体験活動ボランティア活動支援センターにおいて、ボランティア活動の情報の収集・提供・相談業務を実施する。 ・体験活動ボランティア講座(入門・実践・スキルアップ)において、ボランティア活動の在り方とその運営について学習する。 ・高校生のためのボランティア活動講座において、ボランティア活動に関する学習と体験を実施する。 ・ヤングパワームーブメント、子どもチャレンジプロジェクトにおいて、自主的なイベント等の企画・運営を実施する。 					
当初予算額(千円)	27年度	713	28年度	708	29年度	596
決算額(千円)	27年度	647	28年度	624	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアに関する問合せ391件、体験活動ボランティア入門講座「手話を交えたラフターヨガ、車両体験、車いす体験、疑似体験」14人、実践講座「障がい者への合理的配慮をボランティア精神とコミュニケーションの楽しさの面からワークショップ形式で学ぶ」8人、スキルアップ講座「ふれあい囲碁を通して合理的配慮をボランティア精神とコミュニケーションの楽しさの面から学ぶ」10人参加。 ・高校生のためのボランティア体験講座(保育・環境・防災・体験学習等全6回)延べ215人参加。 ・ヤングパワームーブメント実行委員会延べ237人参加、イベント1,452人参加、子どもチャレンジプロジェクト491人、イベント1,855人参加。
--

(2) 事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の意義を学び、主体的に他者と関わったり意欲的に物事に取り組んだりする態度を養成することができた。当プラザ主催講座を合同で複数回実施したことで、世代の異なる人たちとの交流の場にもすることができた。受講後は、普段の生活で学んだことを積極的に生かしていきたいという感想が多く寄せられ、意識面での向上が見られた。また、翌年に仲間とともに再度受講したり、小学生対象の講座においては、卒業後もサポーターとして事業に参加したりする生徒もみられるなど、ボランティア活動に対する意欲の高まりがみられた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> ・講座のねらいに沿った魅力的な講義や体験となるようにする。そのために講師と綿密な打ち合わせをするとともに、受講者の興味関心を高める内容となるように工夫・検討・精選をしていく。 ・多くの方々への周知が必要である。そのために募集チラシの構成を工夫したりボランティアコーディネーターと協力して未経験者へ声かけをしたりするなど、さわやかちば県民プラザから積極的な働きかけをしていく。
--

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 27

事業名	千葉県NPO・ボランティア情報ネットの運営 ニュースレターの発行		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援 職業的自立・就労支援					
基本方策	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	市民活動団体の活動やボランティア活動に対する県民の関心を高め参加につなげていくため、市民活動団体の活動情報や支援情報、ボランティア活動情報などを提供する。					
当初予算額(千円)	27年度	966	28年度	1,817	29年度	966
決算額(千円)	27年度	908	28年度	1,499	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<p>○アクセス件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県ホームページ(「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページ)ページビュー数:766,676件 <p>○情報発信件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間団体等からの助成情報 103件 ・千葉県が募集しているボランティア情報 23件

(2) 事業の成果

<p>・「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」については、アクセス件数の多いものをページ上部にすることで、スマートフォンでも必要なページにアクセスしやすいようにするなどの工夫し、助成情報等の県民活動に資する情報を提供した。</p>
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<p>・「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」については、今後も民間団体等の助成情報や各種ボランティアに関する情報等を随時更新するなど、充実した情報発信に努める。</p> <p>・ニュースレターについては、今後も読者の増加に向け、内容の見直しや広報活動に努める。</p>
--

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 28

事業名	県民活動普及啓発イベントの開催		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援 職業的自立・就労支援					
基本方策	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	NPO法施行日である12月1日前後の1カ月(11/23～12/23)を「ちば県民活動PR月間」とし、県民にNPO・ボランティア活動を知ってもらい、活動への参加に繋がるようなイベントを行う市町村や市民活動団体へ広報支援を行う。					
当初予算額(千円)	27年度	1065	28年度	-	29年度	-
決算額(千円)	27年度	1029	28年度	-	29年度	-
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		-		-	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・ちば県民活動PR月間賛同行事へのグッズ提供による広報支援を20市町の27行事、5団体に行った。

(2) 事業の成果

・ちば県民活動PR月間賛同行事への広報支援により、賛同行事を通して県民活動の普及啓発を行った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・今後もより多くの方に市民活動団体について理解を深めていただくとともに、継続的な市民活動・ボランティア活動につなげていくための工夫が重要となる。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 29

事業名	ボランティア活動支援体制整備事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援 職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	県全体のボランティア活動の推進を図るため、活動体験等を通じた地域のボランティア活動への参加のきっかけづくりを行う事業を実施する。					
当初予算額(千円)	27年度	1,560	28年度	1,550	29年度	1,550
決算額(千円)	27年度	1,397	28年度	1,203	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<p>①特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば「2020ちばおもてなし隊セカンドステージ～育て！パラリンピックボランティア～」(学習会3回115名参加)(交流会3回80名参加)(競技体験会2回150名参加)(全体交流会85名参加)</p> <p>②特定非営利活動法人ディーブデモクラシー・センター「チーボラ大作戦2016」(養成講座4回参加者70名)(情報発信講座3回41名参加)(ウェブサイトでマッチングしたボランティア体験の実施、3名参加)</p> <p>③特定非営利活動法人子ども未来推進プロジェクト「2020年東京オリンピックに向けた英語通訳ボランティア育成プロジェクト」(英会話サークル11回130名参加)(英語アフタースクール2回16名参加)</p>
--

(2) 事業の成果

<p>①では、学習会、交流会、競技体験会、全体交流会を開催。パラリンピックボランティアへの理解を深め、ボランティア参画に向けたアイデア実現の提案を行い、若い世代のボランティア活動参加促進に繋がるものとなった。</p> <p>②では、養成講座を実施し、コーディネーション力の向上を図った。情報発信講座を実施し、ボランティア参加の機会増加に繋がった。ボランティア希望者と団体とのマッチングを実施し、ボランティア体験の機会を提供した。</p> <p>③では、公民館や高校で英会話サークルを、また小学校で英語アフタースクールを開催し、より多くの、また幅広い層のボランティアを育成することができた。</p>
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<p>今後は、事業の企画提案に係る応募件数の増加、また各事業の参加者の増加を図るため、広報について工夫する必要がある。</p>

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 30

事業名	ライトブルー少年賞事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	1 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	郷土千葉県の新しい時代を担う、心豊かなたくましい青少年を育成するため、青少年の善意や親切心に基づく善行を広く表彰し活動を称えるとともに、その気運を広めていく。					
当初予算額(千円)	27年度	392	28年度	392	29年度	392
決算額(千円)	27年度	323	28年度	190	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ・善行少年・団体の選考会議(11/24)
- ・表彰式の開催(1/27) 個人の部 2件(3名)、団体の部 3件
- ・受賞者・受賞団体名簿の作成・配布

(2) 事業の成果

- ・青少年の善意や親切心に基づく善行を表彰し、受賞者名簿を配布する等でその活動を広めることにより、社会形成・青少年の社会参加支援に寄与した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

- ・引き続き、青少年の善意や親切心に基づく善行を広く表彰し活動を称えるとともに、その気運を広めていくこととする。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 31

事業名	内閣府青年国際交流事業における参加青年の選考		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2288

1 事業の概要

柱	1 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	諸外国との青年の交流により、青年相互の理解と友好を促進し、青年の国際的視野を広めて、国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい青少年を育成することを目的とする、内閣府の青年国際交流事業について、千葉県の参加青年を選考し推薦する。					
当初予算額(千円)	27年度	—	28年度	—	29年度	—
決算額(千円)	27年度	—	28年度	—	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・県内各市町村、地域振興事務所、青少年団体、県内図書館等への参加青年募集案内の配布や、千葉県ホームページへの募集情報の掲載、庁内での事業紹介及び参加青年募集の掲示物の展示等により広報を実施した。
 ・千葉県推薦者選考会議を開催し、千葉県在住の応募者の中から内閣府へ推薦する参加青年を選考した。28年度は本県において31名の応募があり、選考を経てその内15名が事業に参加した。

(2) 事業の成果

・本事業に参加した千葉県青年が諸外国青年との理解と友好を深め、国際的視野を広げ、国際協調の精神を養った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・今後も、多くの千葉県青年が本事業に参加できるよう、県としての広報実施方法を検討し、応募者の増加に繋がる取り組みが必要である。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 32

事業名	幕張アジアアカデミー事業		
担当課・室・班名	国際課 国際交流協力室	問合せ先(電話番号)	2398

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援・職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	アジア経済研究所開発スクールに来日中のアジアからの外国人研修生が、県内の高校生に対して、自国の文化等についての特別講義(使用言語:英語)を行う幕張アジアアカデミー「アジア総合学科」を実施する。					
当初予算額(千円)	27年度	32	28年度	32	29年度	32
決算額(千円)	27年度	-	28年度	-	29年度	
財源内訳	県単(○)	一般財源	県単(○)	一般財源	県単(○)	一般財源
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・アジア経済研究所の協力により、公立校5校、私立校4校の計9校で、幕張アジアアカデミー「アジア総合学科」を実施した。

(2) 事業の成果

・アジアやアフリカの海外行政官等から、自国の政治経済・文化等の紹介を聴くことに加え、生徒が自ら発言する機会が設定されるなどの工夫がされ、生徒が主体的に取り組むことができる内容となった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・高校生が開発途上国の事情や経済・地理等を当該国の行政官に直接聴く機会は、海外への関心・理解の向上に非常に貴重であるので、継続して実施する。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 33

事業名	東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業		
担当課・室・班名	体育課スポーツ推進室オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班	問合せ先(電話番号)	4101

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援 職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	東京オリンピック・パラリンピックに千葉県出身の選手が一人でも多く出場し、県民に元氣と勇気を与えることができるよう、関係競技団体と連携し、計画的にアスリートの強化を図る。					
当初予算額(千円)	27年度	100,000	28年度	100,000	29年度	100,000
決算額(千円)	27年度	99,998	28年度	99,962	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック部分では、基礎強化は148名の選手と13団体、特別強化は144名の選手を指定し強化・支援した。 ・パラリンピック部分では、基礎強化は44名と3団体、特別強化は48名の選手を指定し強化・支援した。

(2) 事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・強化指定選手は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックに27名が出場し、18名が入賞するなど、各種大会で活躍した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツは、競技人口や競技団体が少ないことから、一般社団法人千葉県障がい者スポーツ協会内に設置した「障害者アスリート部会」と連携し、パラリンピック競技の体験会や有力選手の調査・把握等を行っていく。
--

4 委員意見

--